

大野町立図書館で国会図書館の資料131万点の閲覧が可能に（お知らせ）

大野町立図書館では、このほど、国立国会図書館がデジタル化した資料約131万点を閲覧することのできる図書館として承認されました。

大野町立図書館では、5月22日（木）から館内のパソコンを使用した閲覧サービスを実施していますが、これによって、利用者のサービス向上が図れるものと考えていますので是非ご利用ください。

なお、詳細については、図書館カウンターにてお尋ねください。

【利用の方法】

- 1 閲覧を希望する方
(大野町立図書館の利用者カードと申請書をカウンターで提示)
- 2 図書館職員が国立国会図書館のウェブサイトアクセス
- 3 希望者が自由に閲覧
(自ら持ち込んだ機器の接続、画面の撮影などはできません)
- 4 終了(図書館職員にその旨申し出)

【利用できる資料】

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料が対象

資料種別	概数	年代・内容
図書	50万点	昭和43年までに受け入れた図書
古典籍	2万点	貴重書、江戸期・清代以前の和漢書等
雑誌	67万点	平成12年までに発行された雑誌
博士論文	12万点	平成3年～12年度に送付を受けた論文
合計	131万点	

資料例 「人生読本」武者小路実篤 学芸社 昭和12年
「冥途」内田百閒 岩波書店 昭和9年
「括要算出」等の関孝和の和算書
「りべらる」(1948～55)「夫婦生活」(1949～55)等の当時の世相をよく表した雑誌

【利用料】

無料